

令和5年度第58回群馬県高等学校総合体育大会

令和5年度第76回群馬県高等学校陸上競技選手権大会
兼令和5年度第76回関東高等学校陸上競技大会県予選会

1. 日 時	令和5年5月12日(金)	午前 8時45分	開始式
		午前 9時30分	競技開始
	13日(土)	午前 9時30分	競技開始
	14日(日)	午前 9時30分	競技開始
	15日(月)	午前 9時30分	競技開始

2. 場 所 正田醤油スタジアム群馬(群馬県立敷島公園陸上競技場)

3. 競技種目

	男 子		女 子	
1 日 目	400m 5000mW 走幅跳 八種(100m 走幅跳 砲丸投 400m)	1500m 4×100mR(予・準) 砲丸投	400m 5000mW 走高跳	1500m(予) 4×100mR(予・準) やり投
2 日 目	100m 400mH(予・準) 棒高跳 八種(110mH やり投 走高跳 1500m)	5000m(予) 4×100mR(決) ハンマー投	100m 1500m(決) 4×100mR(決) 棒高跳	800m(予) 400mH(予・準) 円盤投
3 日 目	200m 5000m(決) 3000mSC(予) 走高跳	800m(予・準) 400mH(決) 4×400mR(予) やり投	200m 3000m(予) 走幅跳 七種(100mH 走高跳 砲丸投 200m)	800m(準・決) 400mH(決) ハンマー投
4 日 目	800m(決) 3000mSC(決) 三段跳	110mH 4×400mR(準・決) 円盤投	3000m(決) 4×400mR 三段跳 七種(走幅跳 やり投 800m)	100mH 砲丸投

※男女400mHは参加選手数により、準決勝を行わない場合は、準決勝の日に決勝を行う場合がある。

4. 引率・監督 (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。(但し、公立学校にあっては教員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。
(2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

5. 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2) 選手は、群馬県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により群馬県高等学校体育大会参加の資格を得た者に限る。
(3) 年齢は平成16年(2004年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(5) 転校・転学後6ヵ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。
(6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
(7) 公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。
(8) 参加資格の特例
ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外で、(3)~(7)の大会参加資格を満たし且つ、県高体連が推薦する生徒を別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ. 上記(3)については、学年区別を設けない課程に在籍する生徒の参加は、

同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

1. 学校教育法72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し県高体連の大会に参加を認められた生徒であること。
2. 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. (公財)全国高体連の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限とも高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、県高体連の予選会から出場を認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 群馬県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

6. 参加制限

- (1) 個人種目の本大会参加は、1種目につき1校3名以内とする。
- (2) 男女100m・200m・混成競技、男子400m、男子走幅跳、男子やり投については、下記の参加標準記録を突破した選手とする。
- (3) 上記(2)の種目において、該当する選手がいない場合でも、混成を除き1種目につき1校1名だけの参加を認める。
- (4) リレーは1校1チームとし、6名以内とする。
- (5) 同一人の参加種目数は、リレーを除く3種目以内とする。
- (6) 外国人留学生については1校4名以内とし、1種目1校1名以内(この種目にはリレーも含む)とする。ただし、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて1校最大4種目とする。

7. 競技方法

- (1) 2023年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則に準拠する。
- (2) 令和5年度県高等学校陸上競技選手権者(個人)を決定するものとする。
- (3) 令和5年度第76回関東高等学校対校陸上競技選手権大会(山梨)の予選を兼ねる。
- (4) 本大会における、男女混成競技、女子棒高跳、女子三段跳、女子ハンマー投は4位まで、男女競歩競技は5位まで、その他の種目は6位までの入賞者が上記大会の出場権を得る。ただし、男女走高跳、男子棒高跳については6位までの入賞者6名、女子棒高跳については4位までの入賞者4名とする。
- (5) 総合体育大会競技として各種目とも、1位6点………6位1点とし採点し、総合得点で学校順位を決める。

8. 表彰

- (1) 各種目の1～3位には賞状、4～6位には専門部賞状を、また優勝者は高等学校選手権メダルを授与する。
- (2) 総合優勝校には優勝盾・優勝旗、6位までの入賞校には賞状を授与する。

9. 申込方法

- (1) 当該校の校長の責任において、所定の大会申込ファイルの申込一覧表(A)・種目別参加人数一覧表(B)(混成申込)、参加人数一覧表(C)を作成の上、地区情報処理担当者に4月24日(月)17:00必着で申し込むこと。
- (2) 選手登録は、4月21日(金)17:00までとする。

10. 附 則

- (1) フィールド種目については、計測ライン・予選通過ラインを設けることがある。ただし、予選通過者が12名に満たない場合は、上位から12名を選んで決勝出場の資格を与える。

- (2) 競歩競技において、周回を残し、制限時間（男子-30'00" 女子-32'00"）を超えた者については、競技をうち切るものとする。
- (3) 走高跳は男子が 1m70、女子が 1m40 から、棒高跳は男子が 3m50、女子が 2m30 から競技を開始する。また、三段跳は男子が 12m、女子が 9m の踏切板を使用する。なお、混成競技のバーの揚げ方は、競技開始後男子が 1m60 から、女子が 1m45 から 3cm ずつ上げる。

参加標準記録

男子 100m……12"00 200m……24"80
 400m……56"00 走幅跳……5m90
 やり投……35m00

★ただし、やり投は、2・3年生のみに適用し、1年生は各校1名まで参加を認める。

女子 100m……14"30 200m……30"00

混成競技 は下記の種目において、1種目以上公認記録で到達した者とする。

八種競技 100m-11"90 400m-54"40 1500m-4'30"00
 110mH-18"50 (中♀110mH-16"80) 走高跳-1m65
 走幅跳-5m80 砲丸投-9m00 (5kg-10m00)
 やり投-40m00 八種競技 3600点 (四種1900点)

七種競技 200m-28"00 800m-2'30"00
 100mH-18"50 (中♀100mH-17"00) 走高跳-1m35
 走幅跳-4m60 砲丸投-8m00 (2.72kg-10m00)
 やり投-26m00 七種競技 2500点 (四種1700点)
 ★ただし()は1年生に限る

- ※ 上記参加標準記録を公認記録で突破していること。
- ※ 公認記録には必ず年度・大会名を記入し、電気計時の100分の1秒単位にすること。
- ※ フィールド種目についても記録を記入すること。